

# 2014年12月期 決算説明資料

サイオステクノロジー株式会社

(東証マザーズ : 3744)

2015年2月2日



## 1. 2014年12月期 決算概要

## 2. 2015年12月期業績予想と中期経営計画

# 1. 2014年12月期 決算概要

# 2014年12月期 決算概要

**売上高 7,367百万円 (前年同期比11.2%増)**

## 二桁増収

- MFP向けソフトウェア製品\*は大幅に伸長
- クラウド\*分野の製品・サービスが順調に推移
- Red Hat, Inc. 関連商品の販売は順調な伸び
- OSS\* のサポートサービスやOSS関連製品は堅調に推移
- ビッグデータソリューション\*は順調に推移
- 「LifeKeeper\*」は大規模案件の減少等により横ばい

**営業利益 65百万円 (前年同期比 73.4%減)**

**EBITDA 125百万円 (前年同期比 61.1%減)**

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

- 新製品開発のための研究開発費502百万円 (前年同期比61.4%増)
- 将来の収益貢献を見据えた社員の積極採用 (前年同期比11名増)
- 営業・マーケティング費用の増加

※ 「\*」を付した用語につきましては、27ページに解説を記載しております。

# 2014年12月期 業績 (連結)

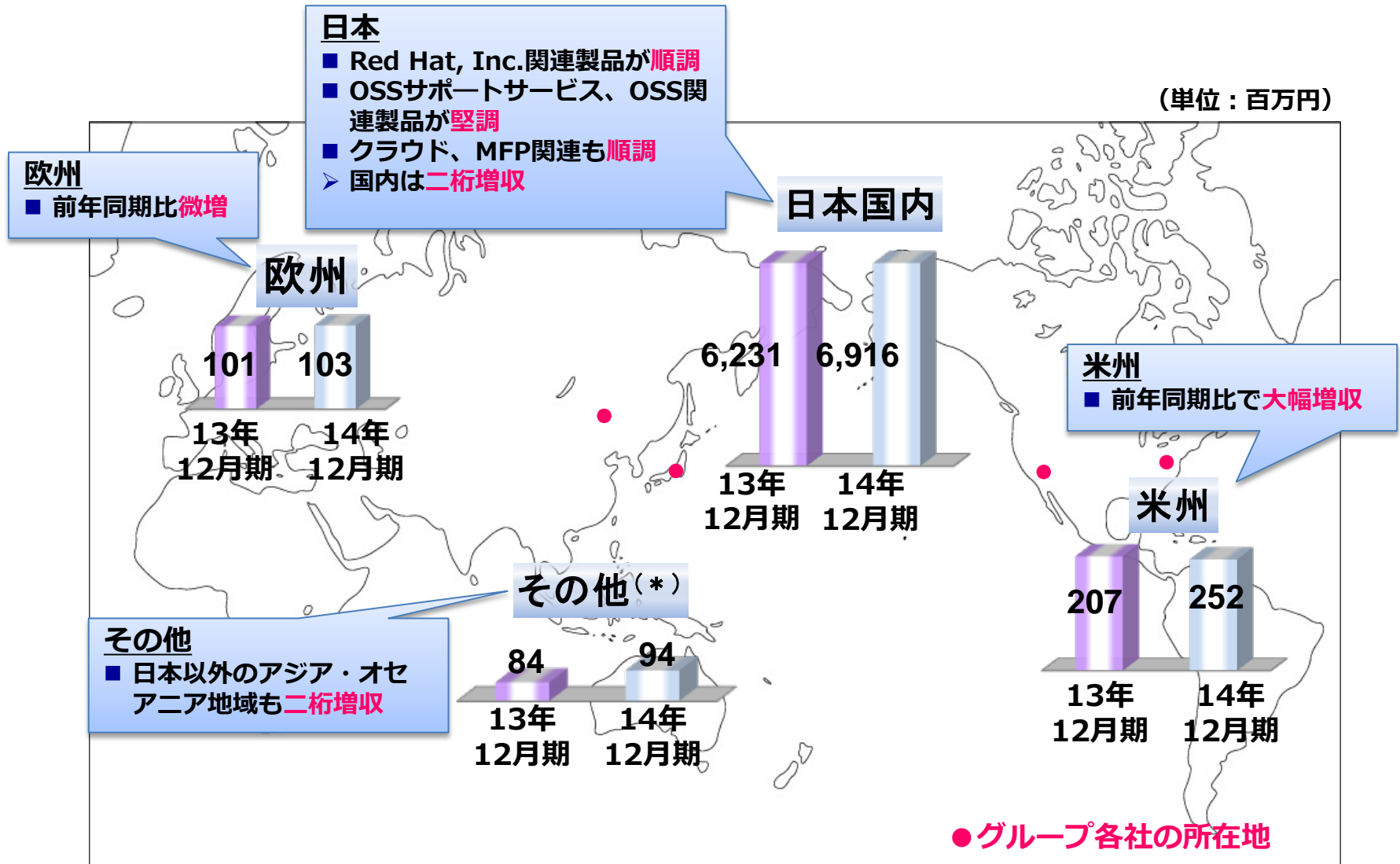
単位：百万円	13年12月期 実績	14年12月期 実績	差額	前年同期比
売上高	6,624	7,367	+743	+11.2%
売上総利益	2,608	2,878	+270	+10.4%
営業利益	246	65	△180	△73.4%
経常利益	265	81	△184	△69.3%
当期純利益	110	39	△71	△64.5%
EBITDA	322	125	△197	△61.1%
(連結従業員数)	237名	248名	+ 11名	+4.6%

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※社員数は、期末時点での正社員と派遣社員および契約社員の年間平均人員の合計

※当社グループは、連結経営で企業価値向上を図っているため、各社単体の決算は表示を省略

# 地域別売上高の状況



※ 1ドル当たり13年は97.73円、14年は105.79円で換算

# 2014年12月期 貸借対照表 (連結)

単位：百万円	2013年 12月末	2014年 12月末	増減
<b>流動資産合計</b>	<b>2,869</b>	<b>3,251</b>	<b>+381</b>
(現金・預金)	1,733	1,982	+249
(売掛金、その他)	1,136	1,268	+132
<b>固定資産合計</b>	<b>327</b>	<b>400</b>	<b>+73</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,196</b>	<b>3,651</b>	<b>+455</b>
<b>流動負債合計</b>	<b>1,326</b>	<b>1,783</b>	<b>+457</b>
<b>固定負債合計</b>	<b>118</b>	<b>134</b>	<b>+15</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,444</b>	<b>1,918</b>	<b>+473</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,751</b>	<b>1,733</b>	<b>△ 18</b>
(自己株式)	△ 20	△ 119	△ 99
(為替換算調整勘定)	△ 220	△ 144	+76
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,196</b>	<b>3,651</b>	<b>+455</b>

## 【財政状態】

■ **現金・預金 +249百万円増加**

➤ **手元資金は約20億円 (成長戦略を加速するための潤沢な資金)**

■ **実質無借金経営**

➤ **有利子負債は6百万円**

■ **自己資本比率 47.1% (前期末は54.7%)**

➤ **自己株取得99百万円により減少するも、自己資本比率は高い水準を確保**

# 2014年12月期 キャッシュ・フロー（連結）

単位：百万円	13年12月期 実績	14年12月期 実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	90	401	+310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 95	△ 223	△ 128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3	△ 145	△ 141
現金及び現金同等物に係る換算差額	155	116	△ 38
現金及び現金同等物の増減額	146	149	+2
現金及び現金同等物の期末残高	1,733	1,882	+149

## ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー 401百万円

- 税金等調整前当期純利益+169百万円、投資有価証券売却益+88百万円、仕入債務の増加額+118百万円、前受金の増加額+152百万円、法人税等の還付額+47百万円、売上債権の増加額△77百万円、

## ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー △223百万円

- 定期預金の預入による支出△100百万円、ソフトウェアの取得による支出△45百万円、投資有価証券の取得による支出△55百万円等

## ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー △145百万円

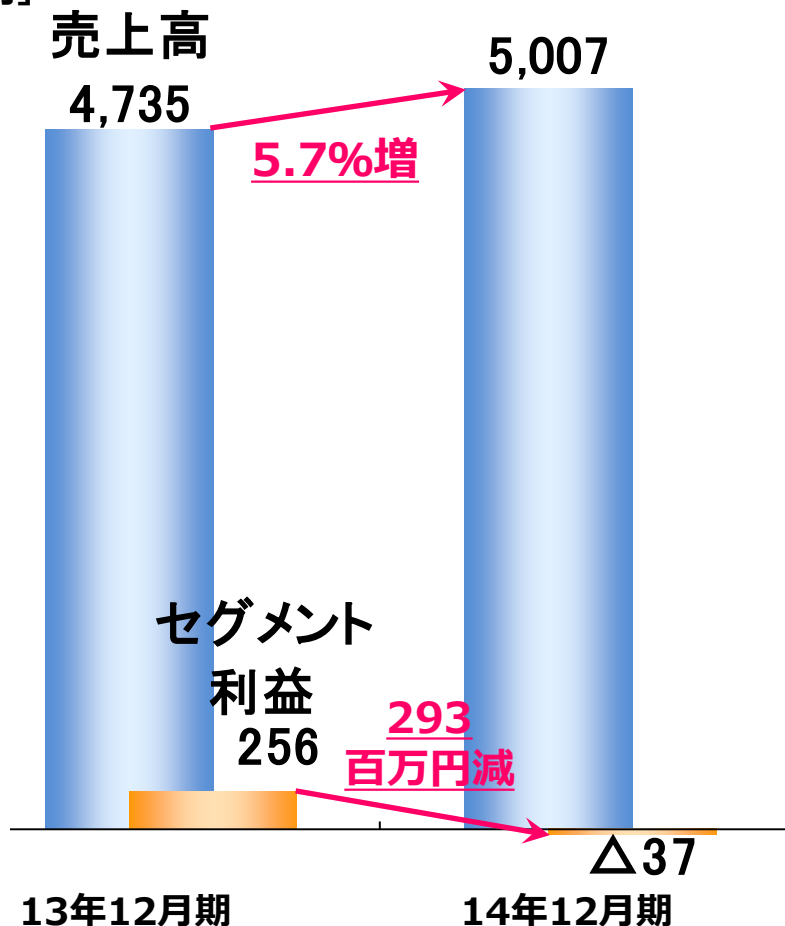
- 自己株式の取得による支出△99百万円等



# オープンシステム基盤事業について

売上高 5,007百万円 (前年同期比 5.7%増)  
セグメント損失 37百万円 (前年同期は256百万円)

[百万円]



## 売上高

[国内]

- Red Hat, Inc.関連商品の販売は順調
- OSSサポートサービスやOSS関連製品が堅調
- 「LifeKeeper」は前期に比べ大規模案件減少により横ばい

[海外]

- 米州、欧州、アジア・オセアニアが増収

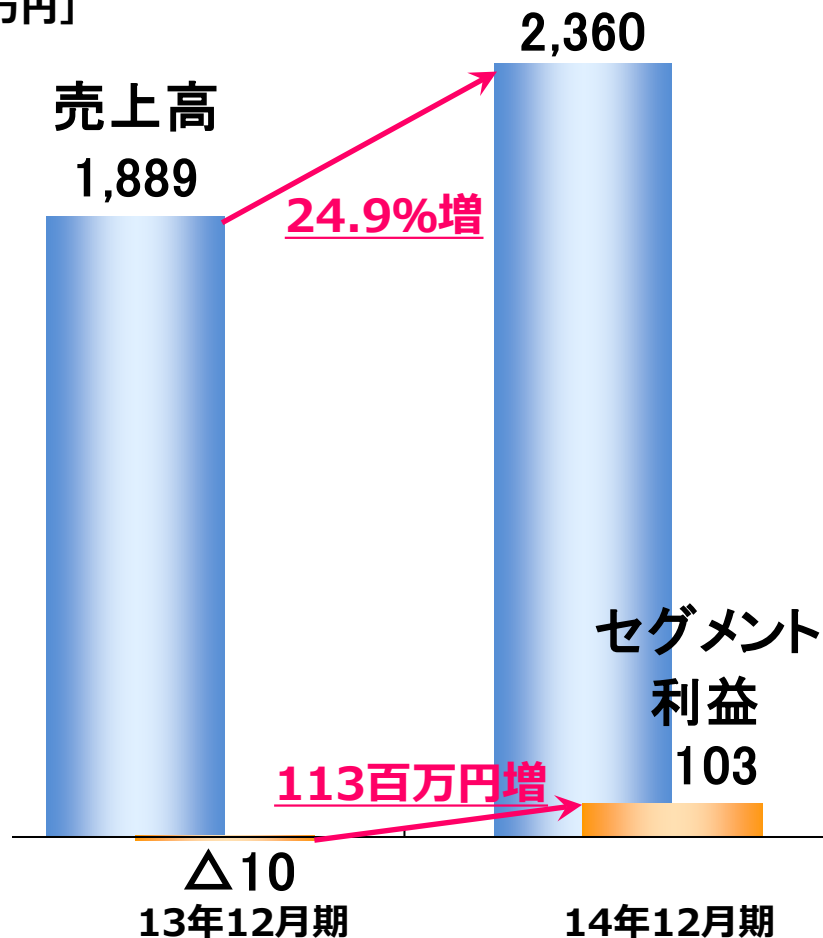
## セグメント損失

- ITオペレーション分析ソフトウェア「SIOS iQ\*」の開発を推進
- 将来の収益貢献を見据えた社員の積極採用
- 「Red Hat Enterprise Linux\*」の競争激化による利益率の低下

# Webアプリケーション事業について

売上高 2,360百万円 (前年同期比 24.9%増)  
セグメント利益 103百万円 (前年同期は △10百万円)

[百万円]



## 売上高

- MFP向けソフトウェア製品が大幅伸長
- SaaS\*の「Gluegentシリーズ\*」が順調
- 新たな事業分野であるビッグデータソリューションは順調

## セグメント利益

- 新製品・サービスのための研究開発を推進
- 人員採用を積極的に行う
- 費用の増加を売上増が吸収し、セグメント利益が黒字化

# 2014年は成長分野への投資を加速

## 成長への強靱な基盤を築く

**人材投資** 新たな成長起点の年と位置づけ、積極的に人材投資を行う

**研究開発** 新規分野拡大・製品力強化のために積極的にR&D投資を行う

**M&A/提携** 各事業パートナーとの戦略的提携およびM&Aを推進

## オープンシステム基盤事業

- 自社製品の「LifeKeeper」のクラウド/仮想化対応を強化
- OSS関連ビジネスにおける営業・技術・マーケティングの各機能強化による競争優位性の確立

## Webアプリケーション事業

- MFP関連ソリューションの機能拡張、営業活動の強化
- クラウド、スマートフォン関連の製品・サービスの提供拡大
- ビッグデータ、MBaaS等の事業展開を加速

# 研究開発成果の第一弾

- 機械学習技術\*を用いたITオペレーション分析ソフトウェア「SIOS iQ」を開発・発表
- 2015年第3四半期中にリリース予定

## SIOS iQ™



特許  
出願中

- ✓ アプリケーションの稼働状況を監視・分析・最適化
- ✓ パフォーマンスや効率性の向上、信頼性保護を図る
- IT管理者の作業負荷を軽減

# 情報システムにおける喫緊の課題

## ■ 新しい“カタチ”のデータセンターへの急速な移行

従来のデータセンター

物理サーバー



柔軟性と即応性が求められている

サービス品質の  
維持は当然の関心事

新しいデータセンター

物理  
サーバー



仮想  
サーバー



クラウド

パブリック  
クラウド

プライベート  
クラウド



ハイブリッド  
クラウド



- **仮想環境は：**
  - さらに大規模に
  - さらに複雑に増殖
- **ますます困難になる：**
  - 問題点の本質的な理解
  - 変更に伴う影響の予測
  - 増設計画および実施
  - パフォーマンスと信頼性の維持

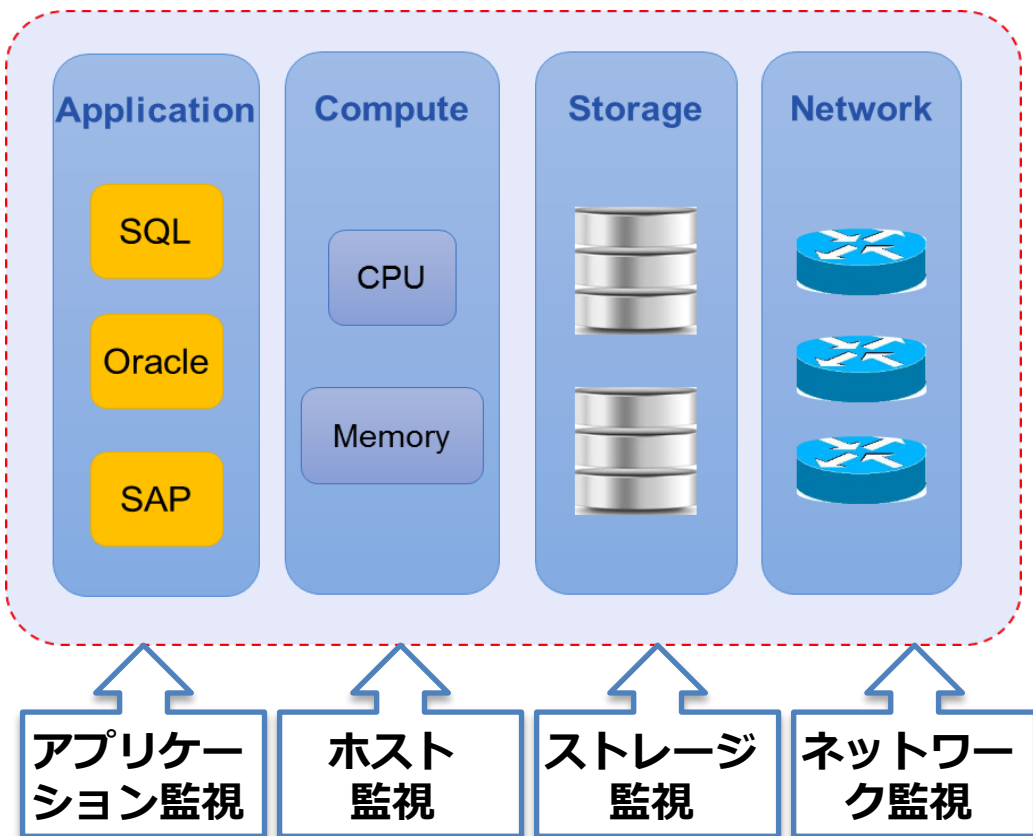


**FACT：**物理サーバの導入件数が変化しない一方で、仮想化サーバは4年間で倍増した

# これまでのアプローチの限界

監視とレポーティングについては…

- “サイロ化” されたビュー:
  - 複雑な関係には目を背けている
  - 複数のツールが必要
- ツールが複雑
  - 面倒なトレーニング
  - 難しいセットアップ
  - インテリジェンスが欠けたままのレポート
- 課題の解決には高度なITスキルが必要





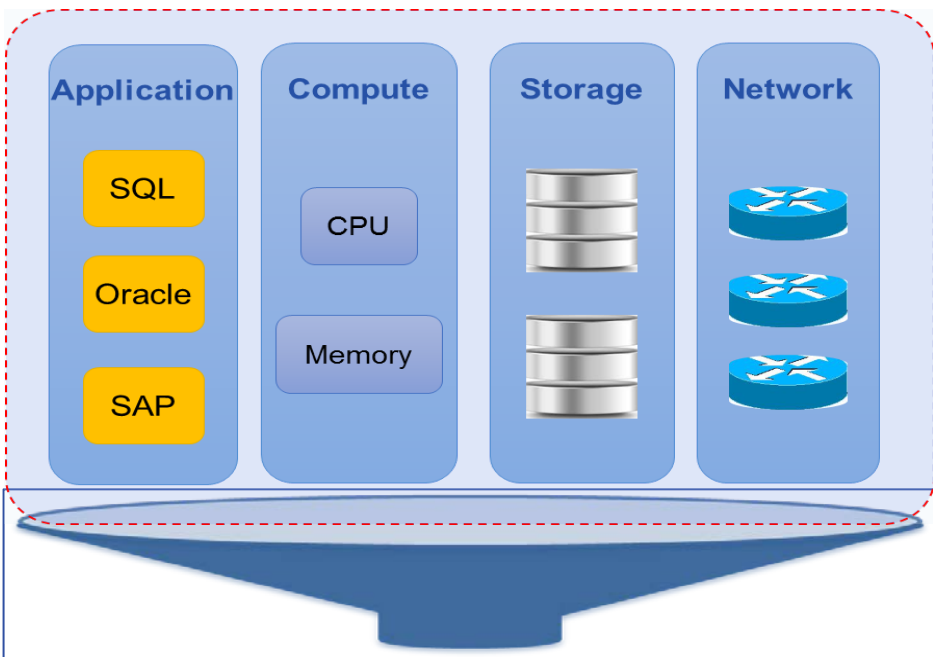
シンプル

インテリジェンス

ITオペレーション分析ソフトウェア「SIOS iQ」は、仮想化およびクラウド環境においてミッションクリティカルなアプリケーションのパフォーマンス・信頼性・コスト効率を担保するためにデザインされ、世界ではじめて機械学習を適用して業界随一のシンプルさとインテリジェンスを提供するプラットフォームです。



# SIOS iQ : 機械学習による分析



- 自動化した運用知見の発掘から、課題解決方法を発見することにフォーカス
- インフラの“サイロ”問題を解きほぐす
  - リソース・時間の軸でデータを収集・分析する
  - データを学習し事象との因果関係を考察する
  - 予測しシミュレートする
  - セットアップと利用時の複雑さを排除する

インフラデータの  
収集と正規化



機械学習による分析



考察／情報  
シミュレーション  
ソリューション



**特許  
出願中**

# SIOS iQ: シンプルとインテリジェンスを 新しいデータセンターに



## コスト削減

- 仮想化およびクラウド環境においてミッションクリティカルなアプリケーションを最適化する機械学習

## サービス品質の向上

- アプリケーションのパフォーマンス・信頼性・コスト効率を担保

## 問題の解決

- 障害の予防と素速い修正

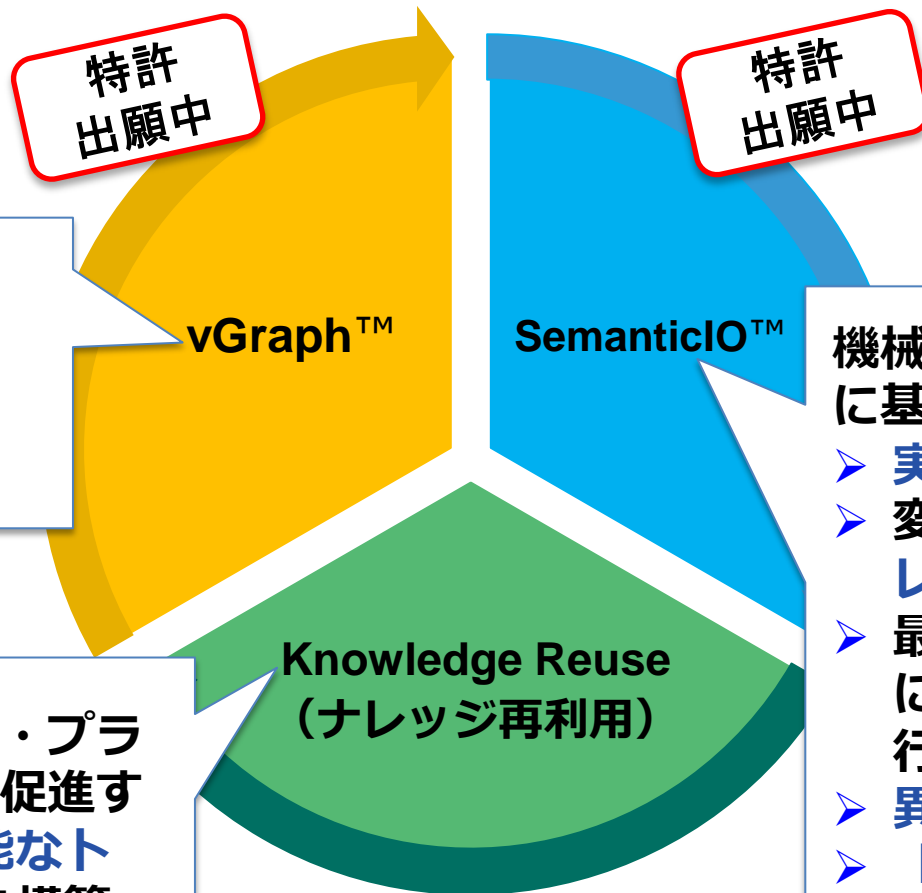
## 正確なプランニング 予算計画

- 要件変更や環境変化に備えた計画立案を支援

## 時間の節約

- ITオペレーションに必要なインテリジェンスをシンプル化・自動化して提供

## 特許テクノロジー



### グラフ理論に基づき:

- トポロジック的なふるまいの分析
- 対象と関係性を自動的に導出

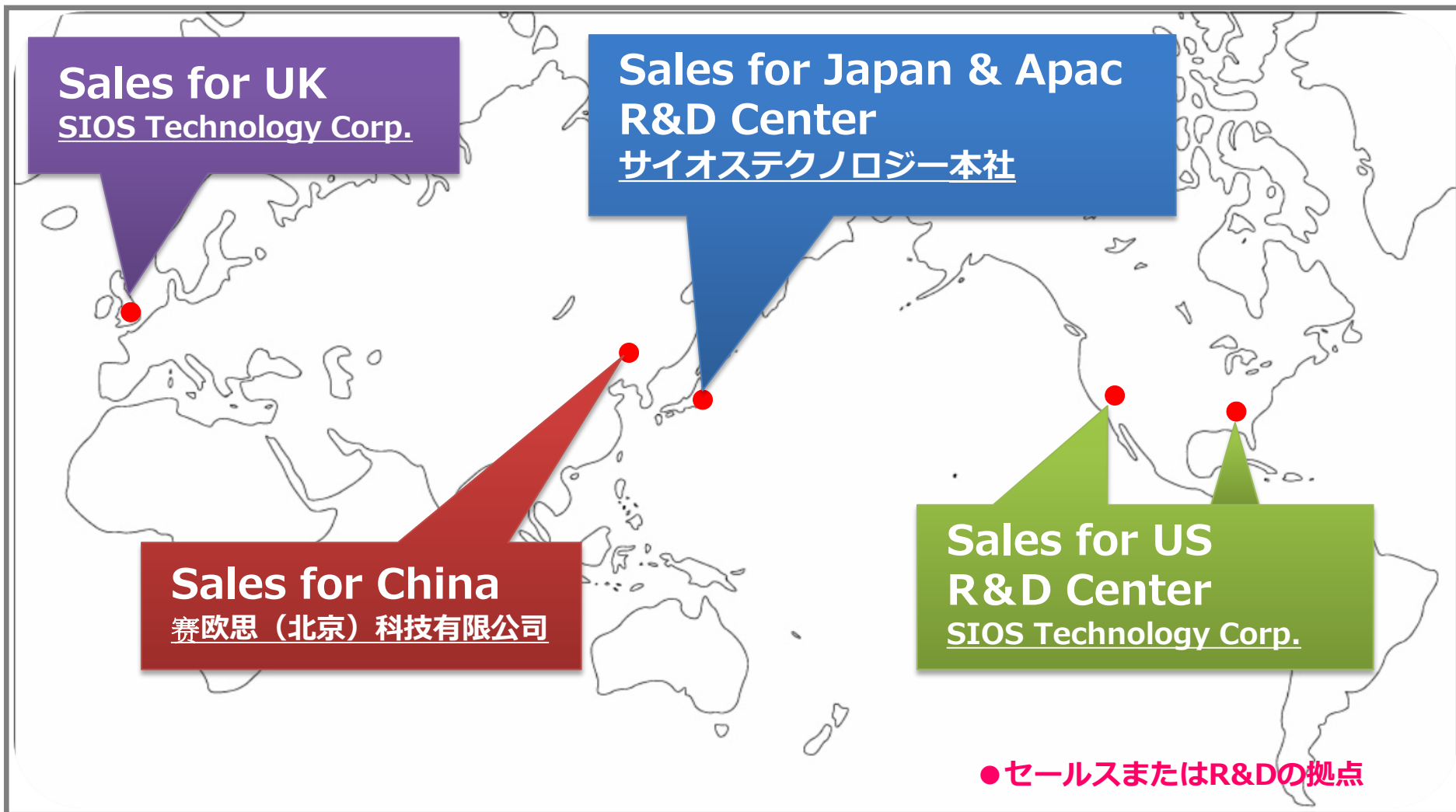
- 次の導入でのベスト・プラクティス適用を計画促進するための 再利用可能なトレーニングセット を構築

### SemanticIO™

### 機械学習の主成分分析に基づき:

- 実行可能な考察導出
- 変更の効果をシミュレート
- 最適な解決策のために継続的な分析を実行
- 異常を検出
- 「しきい値」とルール不要

# 「SIOS iQ」 : グローバルに販売展開



## 2. 2015年12月期業績予想と中期経営計画

# 当期（2015年12月期）の取り組み

## 研究開発を強化

- ITオペレーション分析ソフトウェア「SIOS iQ」を第3四半期にリリース
- 「LifeKeeper」のバージョンアップ
- MFP向けソフトウェア製品の機能拡張
- 「Gluegentシリーズ」等のクラウドソリューションの開発

## セグメント別の取り組み

### ■ オープンシステム基盤事業

- 「SIOS iQ」のグローバルマーケティングおよび販売活動を推進
- 「LifeKeeper」の拡販に向け販売パートナーとの関係強化
- OSS関連ビジネスにおいて顧客ニーズに対応したサービス提供

### ■ Webアプリケーション事業

- MFP向けソフトウェア製品、「Gluegentシリーズ」の営業活動強化

# 2015年12月期 通期業績予想

さらに高い成長を実現するため、研究開発を強化、  
新製品・サービスのリリースに最優先で取り組む

単位：百万円	14年12月期 実績	15年12月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	7,367	8,000	+633	+8.6%
営業利益	65	△ 300	△ 365	—
経常利益	81	△ 300	△ 381	—
当期純利益	39	△ 330	△ 369	—
EBITDA	125	△ 250	△ 375	—

# 株主への利益還元

- **当期配当予定（2014年12月期）**
  - 当初予想通り1株当たり5円（前期は1株当たり5円）を予定
- **次期配当予想（2015年12月期）**
  - 中長期的な成長による企業価値向上を通じて、株主の皆様に対する利益還元の最大化を目指す
  - 2015年12月期は、成長分野への投資を優先的に行うことで、さらに高い成長を実現
  - 以上の理由により、次期予想は無配

	第16期 2012年12月期 (前々期)	第17期 2013年12月期 (前期)	第18期 2014年12月期 (当期予定)	第19期 2015年12月期 (次期予想)
年間配当	3.00円 (※)	5.00円	5.00円	0.00円

(※) 2013年7月1日付で1株につき100株の株式分割を実施しているため、2012年12月期の年間配当は株式分割補正後の値を記載

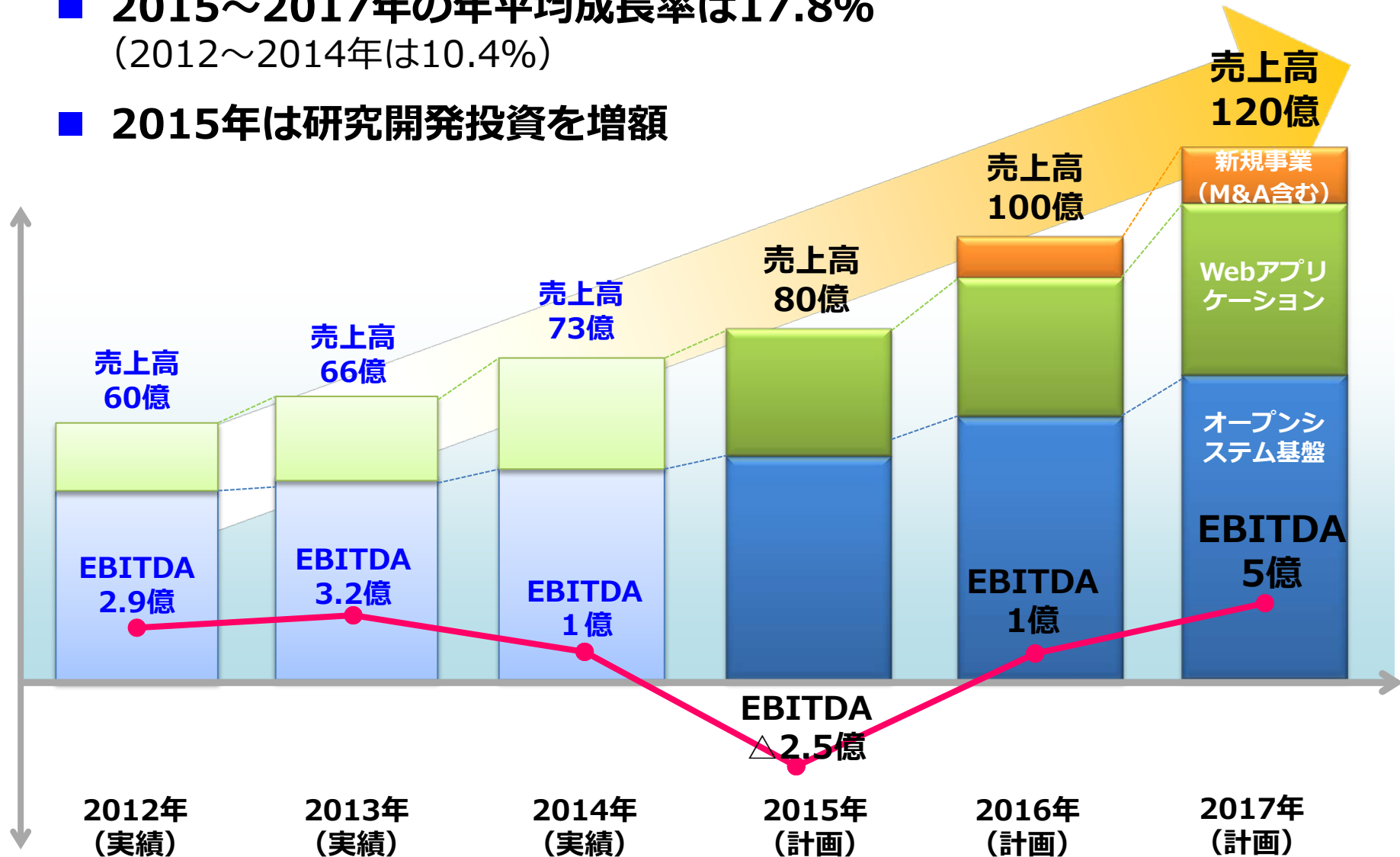


- **2016年売上100億円、2017年売上120億円達成を目指す**

- 1. 継続的な研究開発投資**
- 2. コアビジネスの競争力強化**
- 3. 新たな事業創出**

# 中期目標数値について

- 2015～2017年の年平均成長率は17.8%  
(2012～2014年は10.4%)
- 2015年は研究開発投資を増額



## SIOS is Innovative Open Solutions

1997年の創業以来、OSSを軸にWebアプリケーションやOS（基本ソフトウェア）、ITシステムの開発・基盤構築・運用サポート等の事業を展開し、現在はこれらにクラウド技術を加え、新たな価値創造とそのご提供に取り組んでおります。

### クラウド

高い技術力ときめ細かいサポートで利用拡大！



### OSS

技術力とサポートは創業以来の強み！



本社 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル

資本金 1,481百万円

設立 1997年5月23日

社員数 連結248名（2014年12月31日現在）

連結子会社 SIOS Technology Corp.（米）、赛欧思（北京）科技（中）、グルージェント（日）、関心空間（日）、Glabio,Inc.（米）

# 用語集

頁	用語	説明
3	MFP向けソフトウェア製品	プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multi Function Peripheralの略)という。MFP上を効率的に利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。
3	クラウド	コンピュータ処理をインターネット経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。
3	OSS( オープンソースソフトウェア)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
3	ビッグデータソリューション	大規模データを従来より低コストかつ短時間で解析・分析等できるソフトウェアを利用したクラウドサービス。
3	LifeKeeper	本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA (ハイアベイラビリティ) クラスタソフトウェア。
8	SIOS iQ	「SIOS iQ」は、仮想及びクラウド環境においてアプリケーションの稼働状況を包括的に監視・分析・最適化し、パフォーマンスや効率性の向上、信頼性保護を図り、複雑な課題を解決する製品。
8	Red Hat Enterprise Linux	オープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。
9	SaaS	ソフトウェアをインターネットなどを通じて提供し、利用者が必要なものを必要なときに呼び出して使うサービス。
9	Gluegentシリーズ	社内のワークフローをクラウド化する「Gluegent Flow」をはじめ、Google Calenderにチームメンバーの予定管理機能を付加した「Gluegent Apps グループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化を支援するサービス。
11	機械学習技術	人間が行っている学習能力と同様の機能をコンピュータで実現しようとする技術、さまざまなデータから有益な情報を発掘するもの。

## ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

## 本件に関するお問い合わせ

サイオステクノロジー (IR担当)

Tel : 03-6401-5111 (代表)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

→[https://www.sios.com/ir/form-IR\\_ssl.html](https://www.sios.com/ir/form-IR_ssl.html)



SIOS